

中国四国地区新人戦大会での障害馬術 (2019年12月)



人馬一体全日本目指す

会で総合2位、中国四国地区新人戦大会で個人優勝に輝きました。本年度も全日本大会の出場を目標に活動を続けていきます。



主将の食品生命科学科4年・中條佐保さん(22) 馬術は生き物をパートナーとするスポーツで、休みなく馬の管理をする必要があります。大変なことも多いですが、部員全員で協力することで、自分に厳しく他を思いやる大切さを学べます。気軽に遊びに来てください。

広島工業大(広島市佐伯区)には、数あるスポーツの中でも、生き物と心を通わせて競技をする馬術部があります。同大沼田校舎(安佐南区)に馬場があり、本格的に練習に打ち込むことができます。2~4年の部員計20人は、競技会に向け活動する「競技班」と、自分のペースで練習し

馬術を楽しむ「楽技班」に分かれて練習をしています。競技班は、春と夏に開かれる中国四国地区学生大会、11月開催の全日本学生馬術大会などを目標にしています。ダイナミックなジャンプでバーを越える「障害馬術」、決められた経路を正確かつ美しく動く「馬場馬術」の技術の向上を目指します。楽技班は、自分のペースで馬を誘導できるように練習します。

活動は、月曜以外の平日に個人練習、週末は全員で練習をします。飼育している馬9頭の餌やりや手入れなどの世話は平日は夕方、土日は朝からやります。練習では、馬に負担をかけないように、短時間で感覚をつかんで課題と改善点を考えます。学外の人を対象にした体験乗馬も週末に催しています。部員は、練習を積み重ね人馬一体になる瞬間に成長を感じています。2019年度は、夏季中国四国地区学生馬術大

キャンリポ発 サークル FEILEE



馬術部のメンバーたち

食品生命科学科3年・近藤令奈が取材しました

